

令和2年度高校生自転車交通マナー向上対策事業 実践指定校の取組

1 目的

県立高等学校の自転車通学生を主たる対象とし、愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例の基本理念である「シェア・ザ・ロード」の考え方に沿った交通安全教育を強化し、交通ルールの遵守や自転車交通マナーの向上に取り組むことにより、自転車が関与する事故の防止を図る。

2 令和2年度実践指定校

- 愛媛県立土居高等学校
- 愛媛県立新居浜南高等学校
- 愛媛県立松山南高等学校
- 愛媛県立長浜高等学校
- 愛媛県立川之石高等学校
- 愛媛県立北宇和高等学校

令和2年年度自転車交通マナー向上対策実践指定校の主な取組

実践指定校	交通安全教室の開催	登下校時の危険箇所の把握・分析	自転車新文化の促進	普及啓発チラシの作成・配布	自転車交通マナーアップ啓発ポスターの制作	保護者に対する啓発・実践
土居高校	- 交通安全指導（マナーアップ実技指導） - 県警バイシクルユニットによる実技指導	- 土居町の危険箇所マップの作成・展示 - 交通安全委員会による登校指導 - 交通ルールテスト	- 学校が選定したコースでのサイクリング - サイクリングの様子を全校発表 - 自転車整備	- ポスターとチラシの作製、掲示、配布（幼、小、中、高） - 交通安全標語の募集 - 交通安全マスコットの制作	ポスターの制作	- 自転車損害保険への加入促進 - 交通安全講話
新居浜南高校	県警バイシクルユニットによる実技指導	危険箇所マップの作成、展示	サイクリング同好会と生徒有志によるサイクリング	- 交通安全チラシ・ステッカーの作成・掲示 - 交通安全標語の募集	ポスター制作	- 交通安全チラシ - ステッカーの配布
松山南高校	交通安全教室	- 危険箇所の調査・アンケート - 危険箇所マップの作成、展示	市内で学校が選定したコースでのサイクリング	交通安全標語の募集とヘルメット着用啓発チラシの作成	交通マナーアップ啓発ポスターの制作	- 自転車損害保険加入加入の促進 - 文化祭での展示
長浜高校	- 県警バイシクルユニットによる実技指導 - 交通安全啓発講和	危険箇所の点検		道路使用に係わる情報提供	交通安全ポスターの制作	PTA理事会での活動報告
川之石高校	- 交通安全講話（八幡浜警察署） - 県警バイシクルユニットによる実技指導	- 学校周辺の自転車通行危険箇所の点検 - カーブミラーの清掃	- 八幡浜市、愛南町でサイクリング - 文化祭でのサイクリング体験	- 交通安全普及啓発チラシの作成・配布 - 交通茶屋でシラスリボン配布	交通安全ポスターの制作	プリント配布による情報提供
北宇和高校	- 県警バイシクルユニットによる実技指導 - 自転車シミュレーター体験 - スタントマンによる事故再現	危険箇所の点検		交通安全標語の募集	交通安全ポスターの作成	自転車損害保険加入加入の促進

4 実践指定校の取組

(1) 交通安全教室の開催

県警バイシクルユニットによる交通安全教室



自転車シミュレーター



【参加生徒の感想】

- ・実際にその場で指摘してもらったので
間違っているところが分かりやすかった
- ・自分では意識しているつもりだったが 指摘されることが多く
自分の意識が低かったということに気づくことができた
- ・頭で理解することと実行することは全然違い 難しかった

(2) 登下校時の交通危険箇所の把握・分析 危険箇所の把握 交通安全マップ



(3) 自転車新文化の促進

出発前の点検



サイクリングの感想



私が登下校時にいつも
通る道です!四季が感じられて、
春には桜がとても綺麗です🌸
あと、散歩してる人も沢山いて
挨拶できます👏私の友達はこの道を
「青春ロード」と呼んでいます、
通っていてとても楽しいです!!!

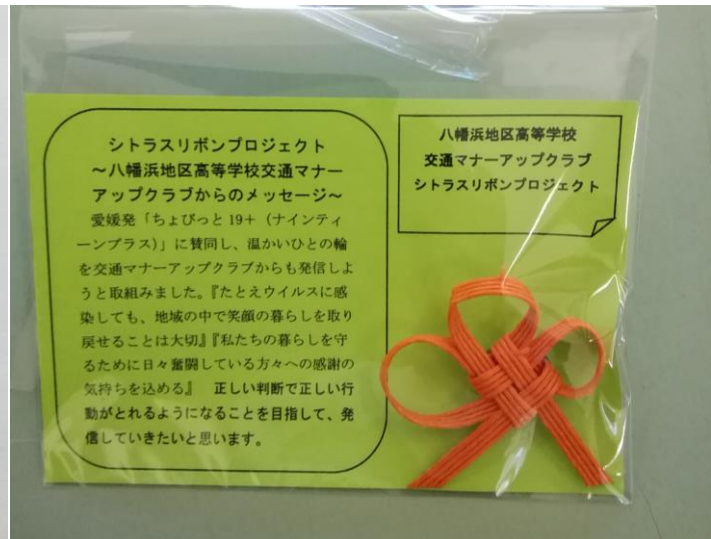


(4) 交通マナー向上啓発チラシ等の作成・配布

交通安全啓発ステッカーの 作成と配布



シトラスリボンの制作



(5) 実践成果の普及

交通マナーアップクラブ



交通マナーアップ総会



全校集会で活動報告



保護者向けの交通安全講話





- 自転車に乗る者としての責任と義務を理解することができた。
命を守る姿勢と交通事故を起こさないという意識を向上させることができた。
- 危険箇所のアンケートを実施し、スピードの出る場所や飛び出しの危険について、解説付きの地図を掲示することで事故件数が減少した。
- 生徒が制作したポスターとチラシを中学校や警察署にも配布し広く掲示していただき、中高生や地域にも交通安全意識を高める効果があった。
- サイクリングコースを作成し、サイクリングを実施。地元地域の良さを改めて知ることができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で思ったような活動ができなかった。
- 加害者にも被害者にもなることを意識させ、交通事故防止に努めるとともに、命を大切にする姿勢を育てていきたい。
- 毎年、1年次生の事故が多い。慣れない通学路であったり、慣れてきたころのスピードの出しすぎで事故に遭うことが多いことから、入学してから早時期の指導が必要。